

# Weekly



RI会長 ステファニー・A. アーチック



東京八王子西  
ロータリークラブ

# Report

2024-25 No.8 令和6年12月13日

●会長標語

会長 山口 覚

温故知新そして進化!

### 今週のプログラム

- 第2799回(12/13)
- 会場 京王プラザホテル八王子

### \*会員卓話

消化器内科 大生医院  
院長 小林 潔正会員  
「高齢者の医療について」

### 次回のプログラム

- 第2800回(12/20)
- 会場 京王プラザホテル八王子

### \*年忘れ家族例会

「国際ロータリー(RI)のロータリー財団(The Rotary Foundation (TRF))です。RIは、私たちの人頭分担金をもとにRI理事会が運営しています。TRFは私たちの寄付とその運用益をもとにロータリー財団管理委員会が運営しています。日本に

本日はロータリー財団の基本中の基本を4つの観点からお話しさせていただきます。1.ロータリー財団とは

ロータリー財団についてはロータリー財団章典に定義付けされており、「ロータリー財団は、ロータリークラブ及び地区を通じて承認された人道的及び教育的活動を支援するための寄付を受け、資金を配分する非営利団体である」とあります。つまり、奉仕活動のための資金を集めて配分する、それがロータリー財団と言うことができます。



ガバナーエレクト 田中 靖氏

## 卓話 「ロータリー財団とは」

2024年11月29日

「公益財団法人ロータリー日本財団」という組織があり、私たちの財団への寄付はほとんどここを通して行われ、この日本財団の理事長千玄室さんの署名入りの領収書を私たちは受け取ることができます。チャリティーナビゲーターというアメリカの慈善団体を評価する会社の評価で15年連続最高4つ星をいただいています。この4つ星をいただけるのは全体の1%に満たないそうです。

### 2.ロータリー財団の歴史

第6代RI会長で「ロータリー財団の父」と呼ばれるアーチ・C・克蘭フ氏が1917年アトランタ国際大会において、世界で良いことをするために、「Doing Good in the World」という言葉で基金設立の提案をしました。RIのテーマは毎年変わりますが財団は毎年この言葉をテーマとしています。

そして、初めて受けた寄付が、カンザスシティロータリークラブからの26ドル50セントでした。

その11年後の1928年、ミネアポリスの国際大会によって正式にロータリー財団と命名され、管理委員会が設立されました。初代の委員長は当然、克蘭フ氏です。

そして1931年の11月、管理する財産及び収益は全てR

Iが行う活動にのみ支払うという宣言をして、信託組織となりました。そのため11月がロータリー財団月間になった訳です。最初の小さな基金が、今のようにな大きな規模になったきっかけは、功績のあったお二人のご逝去です。1947年にポール・ハリス氏、その後4年後にアーチ・克蘭フ氏。このお二人の逝去を悼んで世界中のロータリアンが財団に寄付をしました。特にポール・ハリス氏の逝去後「追悼は献花ではなく財団への寄付」と言うハリス氏の意思が電報でロータリアンに伝えられ、その結果財団への寄付が増え、経済的規模拡大のきっかけとなりました。

### 3.ロータリー財団のプログラム

基本的なプログラムが次の3つです。

- (1) ポリオプラスプログラム
- (2) 補助金プログラム
- (3) ロータリー平和センタープログラム

まずポリオプラスプログラムです。ポリオとは、正式名称を「急性灰白髄炎」といい、一般的には「脊髄性小児麻痺」と呼ばれています。ポリオはウイルスによる疾患で、人から人へのみ感染を起します。このウイルスには、自然界に存在する野生株ウイルスと人工的に作られたワク

チン株ウイルスという2種類のウイルスがあります。今、私たちがポリオ根絶のため一生懸命活動しているのは、自然界に存在する野生株ウイルスをこの地球上から根絶しようというものです。

感染すると手足が麻痺、筋肉が萎縮して極端に細くなり、また呼吸筋が侵されてしまうと自発呼吸ができなくなり死に至ることもあります。そして、このポリオには治療法がなく、ワクチンによる予防のみが有効ということになります。1979年フィリピンにおいて600万人の子どもたちにワクチン投与活動を行ったのがポリオへの取組みの始まりです。1985年にはポリオプラスプログラムを立ち上げます。

そして、3年間で2億4700万ドルの寄付という予定の倍以上の金額を集めることに成功しました。この成功を契機に国際ロータリーは、WHO、UNICEF、CDC(米国疾病対策センター)と協力して1988年「世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)」というものを立ち上げ、後にビル&メリнда・ゲイツ財団も加わって活動を続けております。このGPEIが立ち上がったおかげで、世界のあらゆるところでいつでもワクチン投与活動が可能になりました。

次に2つ目のプログラム、補助金プログラムについてお話しします。補助金というのは、地区補助

金、グローバル補助金、そして大規模プログラム補助金、災害救援補助金という大きく4つの補助金がありますが、この中で私たちが実際に使うことができる身近な補助金というのが、地区補助金とグローバル補助金です。他の2つは、比較的大規模な補助金で、地区単位で使うような補助金です。

・地区補助金とは、地域社会、海外でその地域のニーズを満たす短期のプロジェクト（人道的、教育的、環境保全等）に使用できるもの。

・グローバル補助金とは、ロータリーの7つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な効果をもたらす大規模な国際活動に使用できるもの。大雑把な言い方をすると、地区補助金は地域に使う補助金、グローバル補助金は国際的な活動に使う補助金と捉えて良いかと思います。

次に3番目のプログラム、ロータリー平和センタープログラムについてお話しします。

これは端的に言いますと、世界平和を実現するための人材を育成するプログラムです。ロータリーの究極の目的は世界平和です。2002年、ポール・ハリス氏の没後50年を記念して、このプログラムは立ち上げられました。今では7か所のロータリー平和センターと8個の提携大学がこのプログラムを行っており、そして、アジアで唯一、国際基督教大学にこの日本ロータリー平

和センターというものが存在します。国際基督教大学は2750地区内の三鷹市にあります。つまり当地区は平和センタープログラムのアジアにおける拠点がある地区ということになります。皆さんご存知ないかもしれませんが、実は私たちの人頭分担当から1人15円がこの平和センタープログラムへの寄付として使われております。もう少しせめて倍にしたいと私は思っています。

4. プログラムを支える資金

・ポリオを根絶する

ポリオプラス基金。私たちの寄付によって世界中のどこでもポリオのワクチン投与活動が可能になってきます。

・今日の活動を支える

年次基金というもので、財団の補助金と、活動の主な財源になります。

・明日を支える

これは恒久基金というもので、財団を恒久的に支えるものです。この基金への寄付は未来のロータリアンが持続可能なプロジェクトを計画、実行していくために必要な財源となります。

地区はこの3つの基金への寄付目標というものを掲げさせていただいております。ポリオプラス基金は30ドル/人、年次基金は150ドル/人、そして恒久基金（ベネファクター）は、99人以下のクラブからは年に一人、そして100名以上のクラブからは年に二人に各1000ドルをお願いするということです。

日本全国の地区の寄付総額で見ると、2750地区はほぼ毎年寄付日本一を記録しています。本場にありがとうございませう。ぜひ、今年の伊藤年度も我が地区を日本一につかせていただくとようご協力をお願いいたします。

最後にイアン・ライズリー氏という前年度の管理委員長のメッセージをご紹介します。

「ロータリーのポリオ根絶への挑戦を可能にした財団は、ロータリーの奉仕の土台です。26ドル50セントの最初の寄付以来100年間、財団はロータリーの奉仕を支え、強化し、私たちの大きな望みを実現可能にできました。今日、ロータリーがこのような組織でいられるのも、財団があればこそです。財団のおかげでロータリアンは大きな望みを持ち、その実現のために努力すれば不可能なことはほとんどない、と確信できるのです。」「私はこの文章を読んで、本場に私たちが寄付をするその意義というのにはここに現れているな、というふうな思いました。

私たちの寄付は、私たちが使える補助金にもなり、また、世界中のあらゆるところで必要とされる奉仕活動を実現するために使われます。

この点をよく理解いただき、これから「Doing Good in the World」を合言葉にロータリー財団への協力をお願い申し上げます。



Rotary



八王子市





**出席者** 東京八王子西ロータリークラブ

会長 山口 寛

幹事 塩野 明

社会奉仕委員長 安 淵上

社会奉仕副委員長 松崎 真司

寄附贈呈

東京八王子西ロータリークラブからの寄附受領式  
2024年11月22日  
会場：八王子市役所 特別応接室  
所管課：八王子市福祉部 生活自立支援課

**出席者** 八王子市 初宿 和夫

福祉部生活福祉担当部長 中嶋 徹

子ども家庭部長 古川由美子

福祉部生活自立支援課長 小俣 英一

子ども家庭部子どものしあわせ課長 原 清



令和3年以降4年連続

生活に困窮している世帯やその児童を支援するため、市内で活動する子ども食堂等に対し当クラブから八王子市長を通じて、お米 400 kg を寄贈しました。





例会報告

第2797回●2024・11・29(金)

◇司会 末木 博会場監督補佐



司会／末木会場監督補佐

◇開会点鐘 山口 覚会長

◇Rソング それでこそロータリー

◇お客様のご紹介

ガバナーエレクト田中靖様  
東京広尾RC

パスト会長。パブロ・プーガ様

幹事三浦和幸様

東京六本木RC

20周年記念実行委員会

広報副委員長柏原玲子様

親睦活動委員会委員

池田泰義様

◇食事と交歓 洋食

◇出席報告 萩原照久出席委員



出席報告／萩原出席委員

会員116名中64名出席。

出席率58・72%。前々回11月

8日の出席率66・97%を

72・73%に修正いたします。

◇ニコニコ発表

大田吉彦財務副委員長



ニコニコ発表／大田財務副委員長

◇会長挨拶 山口 覚会長



会長挨拶／山口 覚会長

\*本日は田中ガバナーエレクトよりロータリー財団についての卓話を賜われるのを楽しみにしております。

\*東京広尾ロータリークラブと

東京六本木ロータリークラブの皆さまが、周年行事のPRにお越しくございました。

\*地区より、2027・28年度のガバナーが東京中央新

ロータリークラブの石川和子氏に決定したとのご連絡がありました。

\*先日クラブ代表者会議に出席し、神辺会長年度のロータリー財団への寄付について2つの表彰を受けました。

\*11月9日に武蔵陵墓地参道清掃の活動があり、東京八王子ロータリーアクトクラブ・ボイスアウト八王子協議会・森林パトロール隊の隊員ならびに保護者の方々・八王子消防少年団の皆さまにご協力いただきました。

\*11月22日には八王子市役所にてお米の贈呈式がありました。タウンニュースや東京新聞に記事が掲載され、公共イメージの向上になりました。お米の不足や価格高騰で大変でしたが、測上委員長、松崎副委員長、天野副委員長の

おかげで、無事に奉仕活動を終えることができました。市を通じて市内生活困窮者や子ども食堂へ配布することができ、大変喜ばれました。

◇幹事報告 塩野 明幹事



幹事報告／塩野 明幹事

\*八王子5クラブ12月の例会予定表を配信いたしました。

\*地区大会のご案内を配信したので、ご出欠をお知らせください。

\*来週12月6日は例会終了後に年次総会を開催いたします。

\*メールボックスに、ウィークリー第7号と、地区大会リーフレットを配布しました。

◇東京広尾ロータリークラブと東京六本木ロータリークラブより周年行事のご案内

◇ポール・ハリス・フェロー感謝状等贈呈

◇スピーカー紹介

平沼プログラム委員会委員長

スピーカー



東京広尾 RC 創立 25 周年



東京六本木 RC 創立 20 周年

ガバナーエレクト田中靖氏  
テーマ「ロータリー財団とは」

◇閉会点鐘 山口 覚会長

ニコニコボックス

2024・11・29(金)

◇山口会長・田中靖ガバナーエレクト、卓話を宜しくお願い致します。東京広尾ロータリークラブ、東京六本木ロータリークラブの皆様

ご来会、有難うございます。

◇塩野幹事・本日は田中靖ガバナーエレクトの卓話楽しみにしています。

◇三浦和幸(東京広尾RC)・本日はよろしくお願ひします。

◇池田泰義・柏原玲子(東京六本木RC)・東京六本木RC創立20周年記念例会のご案内で参りました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

◇天神・結婚記念日・妻誕生日

◇塚本・先日は「結婚祝いのお花」を頂きありがとうございました。又、15日に行われました「山

口年度第1回親睦ゴルフ大会」で優勝させていただきました!

◇三浦・広尾ロータリークラブ、息子が

おじゃま致しますので、よろしくお願ひ致します。

◇櫻崎博 相川、神辺、浅川・田中靖ガバナーエレクトをお迎えしましたので。

◇大石・今月は三祝でした。

◇小澤・三祝ありがとうございました。本日誕生日を迎えました。皆さんイイニクの日と覚えてください。

◇三村・結婚祝いをいただきました。ありがとうございます。

◇宮原・結婚祝いのお花をいただきました。

(順不同・会員敬称略)



イニシエーションスピーチ

## Initiation Speech

松本利子会員

2024年12月6日(金)

Toshiko Matsumoto  
松本利子電気工事業  
秋間電設株式会社  
取締役営業部長  
2024年1月入会 親睦・家族委員会

来事を年表でまとめてきました。15分ほどお付き合いいただけましたら幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

## 秋間電設株式会社

最初に私が勤務しています秋間電設について少しだけお話しさせていただきます。

弊社の業務内容は、主に公共工事を中心に住宅・ビルなどの電気設備工事や道路やトンネルの照明工事といった一般電気設備工事を行っています。

この会社は私の父である秋間利久が1968年に立ち上げ、初代社長として45年ほど勤めた後、2013年に、兄の正好が、社長業を引継ぎましたが、皮肉な事に、54歳という若さで、病に倒れ、他界するという事態に見舞われました。

あまりにも突然の事に父はもとより、母や姉、私も大きなショックを受けました。そして会社もトップを失ったことで将来が見えなくなり、父は、5年後を目途に、会社をたたむ決意をしました。けれどその後、私の甥である鈴木峻平から、秋間電設を継ぎたいとの申し出がありました。父は、嬉しかったであろう半面、自分の行く末や自営業の厳しさ、大変さを誰よりも理解していましたので当初は反対を

していました。本人の意思が固いことから、父も会社を継ぐことを認めた次第です。

そこからこの業界の事を学ばせる為、当クラブの会員でもあり父が信頼を寄せている不二電業社の秋間勝仁社長の元で3年間修行をさせていただきました。全くの素人である峻平を快くお預かりくださった、漢気あふれる、秋間勝仁社長には、感謝の気持ちで一杯です。この場をお借り致しまして、心より御礼申し上げます。

おかげさまで甥はこの10月から、成長した姿で会社に戻ってきており、日々試行錯誤しながら頑張っております。

ちなみに弊社は現在、生え抜きの年配社員と若い社員が二極化しており、将来的にはさらに若い社員を増やしつつ、うまく世代交代を図っていくことが急務となっております。

「生え抜き」と言えば、弊社の事務所も、築100年を超える歴史ある、(古い)建物です。最近では、雨が降ると、会社の中でも雨が降る状態になり、特に、近年大型化している台風がくる。この建物が、吹き飛ばされないかとヒヤヒヤしていました。今年の夏は、台風対策として、屋根にブルーシートを引き土壌を乗せ、補強したのですが、流石

にもう限界だと思ったのか、古さを自慢していた父も、ついに新社屋を建てる事を決め、現在は絶賛解体中で来年秋には、1Fを事務所、2、3Fを賃貸アパートとするALCビルが建つ予定です。

## 幼少期

さてここからは、本題である年表に沿って私の自己紹介をさせていただきます。

私は1969年12月24日、クリスマスイブに、父・秋間利久と、母・富枝の次女として生まれました。兄姉は、優しく頼りがいのある兄・正好と、我が家では珍しく穏やかな性格の姉・久子、の5人家族です。幼い頃は、自宅横の資材置き場には、しごや一輪車、スコップ、などが置いてあり、そこが、私たち兄妹の遊び場になっていました。やんちゃな兄とそれを止める姉、そして兄について回り、すり傷が絶えなかつた私、最後は兄が父に怒られて終わる、これが私の家のルーティンでした。そんな私の家には、厳しいルールもあり、そのうちの1つが、夕食は父が座り、箸を持つまでは、食べ始めてはいけないという、典型的な、ド昭和の決まり事でした。それでも、料理上手な母が作る料理はどれも美味しく、待ち遠しい楽しみ

な時間となりました。  
食事の後は、お茶やデザートを食べながら、家族でテレビを観たり、身体を使ってゲームをしたり、なんだかんだとても賑やかで楽しい毎日でした。厳しくも温かな家庭で育った私は、コミュニケーションを大切にする、明るい家庭を作ることが、人生の目標の一つとなりました。

ちなみに兄妹の間では、当時流行っていた(皆さんもご存知の)ぶら下がりが健康器に何秒つかまつていられるかを競いあうことがあり、手の皮がむけても兄に勝つまでは手を離さなかつた負けず嫌いの私に、母は「負けが勝ちムキになったら負け!」と、よく論じていました。

## 中学時代

中学時代は三年間バレーボール部に所属。取れない球は無いというスタンスで球に食らい、つく姿や、負けず嫌いな性格も功を奏し、二年生からはレギュラー入りし、ポジションはセンター、今で言うリベロのような役割をしていました。三年生からは副部長を任せられ、バレーボール漬けの三年間を過ごしました。ちなみに当時の部活のストレッチは過酷で、腹筋、背筋、腕立てを各10回を10セット、その後スクワットにジャンプなどが永遠に続きま

皆様、こんにちは。  
本日はイニシエーション・スピーチの機会をいただき有難うございます。

私は3年前に病気によって他界致しました兄・秋間正好の後任として、塚本パスト会長にご推薦頂き、本年1月から東京八王子西ロータリークラブに入会いたしました。新参者ではございますが、皆様に私のことを少しでも知っていただけたらと思います。本日は私のささやかな人生の出



す。手や足の筋肉がプルプル震えだしたぐらいから、ボールを使い練習開始という超ハードなメニューのうえ（今では練習中の水分補給は当たり前ですが）夏の気温が高い時期でも練習が終わるまで座ることも水分を補給する事も禁止されていた時代でした。この経験によって極限に追い込まれた時に、本領発揮のできる強い精神力が養われ、さらに負けず嫌いの私の心をより一層強くしてくれたように思っています。

## 大学時代

その後の大学進学においては、どういう道に進もうかと考えていた時に、料理のことが一番に思い浮かびました。幼い頃から母の作る料理が好きで、よく一緒に料理を作っていたことから、栄養士の免許を取るべく千葉にある聖徳学園短期大学に入学しました。

授業は栄養学中心に和・洋・中の本格的料理や臨床学に関する事が中心でしたが、マニアックな授業もありました。例えば、クリスマス調の実習ではなんと七面鳥の解体からさせられ、臨床学では人体解剖の視聴やラットの解剖などもありました。ただ料理が好きで、花嫁道具の一つにならばかなりの気持ちで進学した私にとって厳しい授業も多かった事を記憶しています。一方で校外実習では、八王子のめじろ台にある付属幼

稚園で、幼児食を作る時の注意点や調理方法を学ぶことができて、二年生の病院実習では当時の国立立川病院に行き、「患者食の調理方法や献立作成」、「成人病の食事指導」などを体験しました。幼児食も病人食も献立や調理方法で命にかかわる事もあります。だからこそ病院実習は特に緊張感を持って取り組む事が出来、学生から社会人になる為のよき準備期間になりました。そしてどうにか栄養士免許を取得することができ、また大学で知り合った友人たちと、色々な所に旅行にも出掛けあつたという間の楽しい2年間を過ごす事が出来ました。

## 就職・結婚・出産……

卒業後は栄養士の道も考えましたが、新しい学びに触れたいとも思い、最終的には興味のあつた建設業を選び、不二サッシ株式会社に入社しました。神田営業部に配属され、営業事務として、見積りや請求書の作成業務、経費の精算業務を担当し、このときの業務経験は、現在の秋間電設での業務にも大いに役立っています。

その後は、大学在学中に知り合った5歳年上の夫と24歳で結婚、二人の娘を出産し子育てに邁進する日々をしばらく送っておりましたが、家庭に尽くす一方で、また社会に出て働きたい、という意欲が自分の中に出てきていました。そんなとき（長女

が6歳、次女が3歳の時です）保険会社に勤務していた叔母から声をかけてもらい、転職を迎えます。父は「小さい子どもがいるのに働くなんてとんでもない！まして保険会社なんて何を考えているんだ！」と働くことに大反対。しかし夫は「本人に働きたい気持ちがあるなら1度やらせてみたらどうか」と父を説得してくれ、晴れて第二の社会人人生をスタートさせる事が出来ました。熱中すると周りが見えなくなってしまう私の性格を見越した両親からは「家族の理解があつて働かせてもらっているという事を忘れず、家事、育児に手を抜かない様にと」厳しい言葉をもらい、また主人は「お金は家庭に入れなくていい、無理だと思ったら辞めたらいい」と優しく背中を押してくれました。仕事は楽しくて、優秀な人を見ては参考にし限られた時間の中で工夫をしながら働き、時には理不尽なクレーム対応に心が折れかけたことも、思うように結果が出ず敗北感を味わう事もありましたが、その頑張りが徐々に認められ、リーダーになり仕事が増えて来た頃家庭の方では、長女が中学受験の為、塾にお弁当を届ける日々。頑張っている娘に温かいご飯を食べさせたくて、夕方、仕事を抜けお弁当を作り自宅へ帰り、塾に届け、また会社に戻る。一方次女は、6歳から始めたバレエスクールとピアノ教室への送

り迎えがありました。当時の夫は仕事柄、夜遅く帰宅する事がほとんどでしたので、私がやらねばならず、とにかく多忙な毎日でしたがそれも今では良き思い出です。その後、管理職に昇進し、育成部門において優秀賞を連続で受賞する事が出来、時には他支社から育成について講演依頼が来るようになったり、社内誌で特集を組んでもらったりと、仕事が安定してきた頃、営業部長の試験を受けてみないかという声上司からかかりました。悩みましたが一度きりの人生・熟考した末、挑戦してみる事に。周りのサポートもあり無事に試験に合格し営業部長として営業部を任される立場となりました。スタートは10名ほどの小さい営業部でしたが、異動する頃には19名にまで増え、そしてその中から毎年、「優秀新人賞」や「優秀賞」を受賞出来るメンバーを育てられた事は私の自慢の一つです。一方、部長になっても仕事と家事の両立は相変わらずで、会社では、朝、支社との打ち合わせから始まり、朝礼、同行、社内打ち合わせ、時には苦情対応。そして15時からは営業職員との個別面談を、19時過ぎまで順次行い、その後自分の仕事を終わらせ、21時までは帰宅し家族の夕飯を作る。という超多忙な毎日でした。

そんな時に母から言われた「仕事を始めたら大変なもの忙

しいのも当たり前前、自分が選んだ事、家族も寂しさや不便を感じていても我慢してくれているんだ」。この厳しい母の言葉の陰で、私は勘違いすることなく、忙しい時こそ家族に感謝し、家族との時間を大切にすることが出来たと今は感謝しています。最終的に本社のPM事業部で採用・育成を担当させていただき結果として大樹生命で21年勤め上げました。大樹生命時代の私を振り返ると、仕事と家庭の両立で悩む事も多かったです。目標を立て、その達成に向かつて人の倍働くことで、大きなやりがいを感じる日々が送れていたと思います。

## 秋間家さいごー、いい家族

さて、話が前後しますが、私は本社に異動し、2021年頃には、兄の体調が急激に悪化。一般病棟はコロナの感染予防の為、面会ができない状態でしたので、ホスピス病棟に移り、兄が寂しくないよう母、姉、私が交代で付き添っていました。2月21日の朝、前日に付き添いをしていて姉と、交代をした3時間後、眠るようになり亡くなりました。兄は入院中、ノートに、「病状」や「薬の種類」、「治療内容」を毎日書き記していましたが、一番後ろのページに、強い痛み止めで意識がもうろうとする中、書いたのでしょう、弱弱しい字で「さー、いい家族」と書いてあり

ました。兄は、口は悪いのですが責任感が強く親想いの温かい人でした。自分が親の面倒を最後まで見てあげられなかった事、そして仕事を、会社を、最後まで続ける事が出来なかつた事は、不本意だったと思います。私は沢山の人に支えて頂き多くのチャンスを貰い、恵まれた人生を送らせてもらいました、これまで家業は兄にまかせっきりで、自分のやりたい仕事をしてきた私として、兄の想いを少しでも引き継ぎたく、また父や兄が大切にしてきた会社を支えたいという気持ちから、両親に望まれ秋間電設に入社し、第三の人生をスタートさせたところです。私は、両親と兄が大切にしてくれたこの会社を支え、そして素晴らしい会社だと、多くの人たちが言ってくたさる、そんな会社であり続けられるよう、その為に私ができることは、これからも全力で取り組んでいきたいと思っています。そして、働く私の背中を見て育った娘達も今では立派な社会人です。長女は昨年出産し、子育てしながら、広告代理店で激務に奮闘しており、私の血を引いているなど改めて感じています。育児と仕事の両立が大変なことは十分に理解していますので、今度は娘をサポートする立場としても頑張りたいと思います。

最後に

こちらは、今年の5月に兄が

やりたがっていた両親の傘寿(さんじゆ)のお祝いを家族全員で行った時の写真で、題名は「秋間最高!いい家族!!」です。

以上、つたない話となりましたが最後までご清聴いただき有難うございました。



2024-25 年度

Paul Harris Fellow 感謝状、バッチ贈呈

神辺 和幸 PHF+2  
 神田 義久 PHF+1  
 山本 俊明 PHF+1

松崎 慎司 PHF  
 天神 敏博 PHF  
 立花 探 PHF  
 町田 修一 PHF  
 小林 秀司 PHF  
 馬場 義和 PHF  
 駒津 栄雄 PHF  
 岩田 祐樹 PHF



ポール・ハリス・フェロー認証の起源  
 ポール・ハリス・フェローとは、ロータリー財団に 1,000 米ドル以上の寄付をした人、または名義人を称える認証です。  
 ポール・ハリス・フェローの認証は、1957 年、当時唯一の財団プログラムであり、国際親善奨学金の前身となった「Rotary Foundation Fellowships for Advanced Study (高等教育のためのロータリー財団フェローシップ)」への寄付に対する謝意を示し、さらなる支援を向上させるために設立されました。  
 (マイロータリーより)





# 年次総会



2024.12.6 (金)

八木知祥・北澤誠一（銀婚式）・粕谷 良・伊藤弘造

◇スピーカー紹介  
羽山智子プログラム副委員長  
スピーカー  
松本利子会員

◇閉会点鐘 山口 覚会長  
テーマ 「イニシエーション・スピーチ」

◇中間決算報告  
◇次年度理事役員について  
満場一致で承認

◇山口会長・新会員吉森邦博さん入会おめでとーございませう。松本利子会員、イニシエーションスピーチ頑張つて下さい。

◇塩野幹事・松本会員のイニシエーションスピーチ楽しんで頂いています。

◇榎崎博・公務の為、欠席させて頂きませう。松本利子会員のイニシエーション聞けないのが残念です。併せて誕生日のお祝いを頂きましたので。

◇馬場榮次・近藤・吉森さんの入会を歓迎して。

◇田辺・大田・北澤秀彦・淵上・誕生祝いをいただきますので。

◇塚本・神辺・橋本・長尾・秋山・井上・梅田・榎崎雅彦・高橋由美子・粕谷・峯尾・松本会員

のイニシエーションスピーチ楽しみにしています！

◇安藤謙一郎・誕生日のお祝い頂きありがとうございます。松本会員イニシエーション楽しみにしています。

◇金子・関・新会員の吉森さんを宜しくお願ひします。

◇齋藤・三祝で誕生日の記念品をいただきます。松本さんイニシエーションスピーチ頑張つて下さい。

◇北澤誠一・吉森会員、入会おめでとーございませう。松本会員、イニシエーションスピーチ楽しみにしています。結婚記念日のお花いただきました。ありがとうございます。ございました。

◇神保・トシネエ、スピーチ楽しみです。

◇羽山・松本さんスピーチ楽しみにしております。吉森さん、二小の同級生ですね。よろしくお願ひします。

◇平沼・誕生日プレゼント頂きます。松本会員、イニシエーションスピーチ宜しくお願ひします。

◇松本利子・本日イニシエーションスピーチをさせて頂きます。腰が痛くて声が出るか心配ですが、頑張ります。

◇山本俊明・家内の誕生祝いありがとうございます。

◇吉森・入会させていたいただきます。よろしくお願ひします。

(順不同・会員敬称略)

## 相川丸出航準備へ

次年度 第60代会長

理事会にて次年度理事・役員が決定し、12月6日(金)例会終了後の年次総会にて承認されました。相川丸が半年後の出航に向けていよいよ準備開始です。会員の皆様のご協力をお願いいたします。



2025-26 年度 東京八王子西ロータリークラブ理事・役員

- 役員
- 会長 相川 博
- 直前会長 山口 覚
- 副会長 三村 裕介
- 会計 塚本 達二
- 幹事 立花 探
- 会場監督 榎田 義久
- 理事
- 副幹事 森崎 博之
- 角田 昌己
- 職業奉仕委員長 鈴木 卓
- 社会奉仕委員長 町田 修一
- 国際奉仕委員長 市川 隆
- 新世代委員長 近藤 芳弘
- プログラム委員長 池田 勝
- 親睦・家族委員長 長尾 健
- 広報委員長 草間 剛

## 東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町 14 番 1 号 京王プラザホテル八王子 8F  
 TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753  
<https://www.hachioji-west-rc.org>



会長 山口 覚 幹事 塩野 明 広報委員会 諸星宗幸 浅川立憲 原 巖 原 啓一郎 天神敏博 佐山隆一



皆様の投稿をお待ちしております。お気軽にお寄せください。

アイデアを上げよう : [www.rotary.org](http://www.rotary.org)